

熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY)

2020 年から 2025 年までに熱中症のために治療を受けた患者さま

研究協力をお願い

当科では熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY) という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2020 年 7 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までに日本医科大学多摩永山病院救命救急センターにて、熱中症患者の医学情報等に関する疫学を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY)

研究期間：2020 年 7 月 1 日～2025 年 10 月 31 日

当院における研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 救命救急センター 畝本恭子

(2) 研究の意義、目的について

夏から夏季にかけ、熱中症（暑熱環境における身体障害）の発生が多数報道されますが、実は、日本における熱中症、特に重症の場合の実態は、十分に解明されていないのが現状です。本研究は、重症熱中症の全国規模の実態調査です。その原因や病態の解明および治療の結果の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを明らかにすることを目的としています。

(3) 研究の方法について（研究に用いる情報の種類および外部機関への提供について）

2020 年 7 月 1 日より 2025 年 9 月 30 日の間に日本医科大学多摩永山病院救命救急センターにて熱中症に対する治療を受けた患者様について、以下の情報を収集、使用します。ただし、実際の調査期間は、各年の 7 月 1 日より 9 月 30 日までで、それ以外の期間は解析等をおこないます。

情報：年齢、性別、発症日時とその時の気温、湿度、発症時の環境（屋外、屋内、作業中、日常動作など）受診の方法、既往歴、基礎疾患、来院時の意識状態、血圧、脈拍、呼吸数、血液検査、肝機能、腎機能、凝固系指標、治療内容、転帰（ご自宅退院、転院の別、後遺症）等

これらの情報は、一般社団法人）日本救急医学会 熱中症および低体温症に関する委員会に送られます。これらの情報は、同委員会が委託した業者のセキュリティ管理されたウェブ上に匿名化して入力を行い、研究グループが管理するサーバーへ電子的に収集されます。各研究機関から収集された情報を用いて、同委員会が解析し、発生予防やより良い治療法の選択や副作用の有無などの検討を行います。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：帝京大学医学部附属病院

研究全体の責任者：帝京大学附属病院 救急医学科 助教 神田 潤

その他の共同研究機関：全国の日本救急医学会救急科指導医指定施設、救命救急センター、大学病院、市中の救急部のうち協力施設 約 100 施設（現在も募集中のため確定してません）

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局
〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1
電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302
メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp